Sulfamethoxazole-Trimethoprim 合剤の急性および亜急性毒性試験

本多一裕·丸山大徹·御手洗宏子·中村孝子·太田栄子·手島吉彰 慶応義塾大学医学部薬理学教室

2 水素葉酸還元酵素として知られる trimethoprim (以下 TMP) 1) はサルファ剤と配合される時,サルファ剤の抗菌力を *in vitro* および *in vivo* において増強させることが知られている 2 , 3)。

Sulfamethoxazole (以下 SMX) と TMP 5:1 の 比率で配合された製剤は,英,西独,スイスをはじめ広 く臨床的に各種細菌感染症の治療に用いられ,その成績 が最近,文献上数多くみられる $4\sim8$)。

本論文は, SMX および TMP 各単独, および SMX と TMP の 5:1 配合物 (以下 ST (5:1)) の急性および亜急性毒性の実験成績について報告する。

方 法

急性毒性

1) 実験動物および方法

マウスは日本クレアより購入した体重 $14\sim18\,\mathrm{g}$ の dd 系の雄雌を用い, ラットは日本ラット KK より購入した体重 $100\,\mathrm{g}$ 前後の Wistar 系の雄雌を,それぞれ $1\,\mathrm{t}$ 間 $10\mathrm{m}$ で使用した。

実験はすべて、温度 22 ± 2 °C、相対湿度 55 ± 5 %の動物室で行なつた。

薬剤投与は、マウス、ラット共、腹腔内、皮下および経口により、投与後7日間観察後、致死数から LITCHFIELD-WILCOXON 法によつて LD_{50} 値を算出した。

2) 試料調製

SMX および ST (5:1) は,5%アラビアゴム溶液 に懸濁して用いた。TMP は0.5% CMC 溶液に懸濁した。SMX および ST (5:1) を CMC に懸濁したところ,固まるか,クリーム状となり,ゾンデを通しての投与がきわめて困難になつたので,この両者はアラビアゴム懸濁液とした。

亜急性毒性

1) 実験動物および飼料

飼料は日本クレア製 CA-1 固型飼料と水道水を自由に与えた。

2) 投与方法および投与量

SMX および ST (5:1) は 5% アラビアゴム液に懸濁し、TMP は 0.5% CMC に懸濁して胃ゾンデにより 30 日間連日、直接胃内に投与した。

投与量はラットにおける LD₅₀ 値を参考にして以下の とおり決定した。

SMX は 150 mg/kg, 500 mg/kg, 1500 mg/kg および 2250 mg/kg の 4 群と,対照群 (5% アラビアゴム液投与)の計5群で行なつた。

TMP は最初, 30 mg/kg, 100 mg/kg および 300 mg/kg と, 対照群 (0.5% CMC 液投与) の 4 群 で行 なつたが, 300 mg/kg 投与群で死亡例が認められなかつたので, さらに 450 mg/kg および 600 mg/kg 投与群を追加した。前の対照群を (a), 後の対照群を (b) とした。

ST (5:1) は 180 mg/kg, 360 mg/kg, 600 mg/kg, 1800 mg/kg および 2700 mg/kg の5群と,対照群 (5%アラビアゴム液投与)の計6群で行なつた。

3) 検査項目

全動物につき,体重,飼料摂取量,一般症状を観察 し,屠殺時に血液検査,臨床化学検査,尿検査,臓器重 量および病理組織学的検索を行なつた。

成 績

急性毒性

SMX, TMP および ST (5:1) の経口, 腹腔内および皮下投与における LD_{50} 値を表1に示した。

1) SMX

a) マウス

経口および腹腔内投与を受けたマウスは投与数10分後鎮静状態となり、四肢を伸ばして腹ばいの体位をとつた。大量投与した動物では30~40分で呼吸困難となり、痙攣後死亡した。皮下投与を受けたマウスの症状は対照群とほとんど変わらなかつた。経口投与を受けたマウスの剖検では特に異常を見出さなかつたが、腹腔内投与の死亡例では肺充血が一部に見られた。皮下投与を受けたマウスの剖検では、薬物がほとんど吸収されずに皮下に残つていた。

表 1 LD₅₀ (mg/kg)

マウス

SMX

	雄	雌
経口投与	3900 (3223—4719)	3471 (2650—4540)
腹腔内投与	2300 (1980—2660)	2450 (2060—2920)
皮下投与	>5000	>5000

TMP

	雄	雌
経 口 投 与	5200 (4200—6400)	5400 (4500—6500)
腹腔内投与	1870 (1520—2480)	2200 (1500—3220)
皮下投与	>5000	>5000

ST (5:1)*

	雄	雌
経口投与	7200 (5950—8700)	6400 (5420—7550)
腹腔内投与	2010 (1890—2140)	2197 (2000—2420)
皮下投与	>3000	>3000

* ST(5:1) は SMX 5 対 TMP 1 の混合物

b) ラット

経口,腹腔内および皮下投与を受けたラットの一般症状は、発症群ではマウスとほぼ同様の変化が観察された。 剖検では、皮下投与群に薬物がほとんど吸収されずに局 所に残存していたほか、特記すべき異常をみなかつた。

2) TMP

a) マウス

大量群では経口投与を受けたマウスは 24 時間以内に,腹腔内投与では35 分位で死亡した。皮下投与群は対照動物と変わらない症状を呈したが,雄マウスは投与後 1 日 目,雌マウスは 6 日目に体重減少の後,死亡した。剖検では,経口および腹腔内投与の死亡例に肺充血が認められたが,生存例には特別な異常を認めなかつた。皮下投与群では皮下に薬物の残存を認めた以外,異常をみなかつた。

b) ラット

皮下投与群を除いて,経口および腹腔内投与群では鎮 静状態となり,大量群では経口投与群が24時間以内に, 腹腔内投与群が約半時間で死亡した。なお鎮静状態のま ま死亡にいたらなかつた動物には,体重減少が認められ SMX

	鸠	雌
経口投与	8640 (7024—10627)	8400 (6829—10332)
腹腔内投与	2790 (2405—3236)	2690 (2319—3120)
皮下投与	>5000	>5000

ラット

TMP

	雄	雌
経 口 投 与	1670 (1390—2005)	1670 (1360—2060)
腹腔内投与	1530 (1300—1805)	1460 (1227—1737)
皮 下 投 与	>5000	>5000

ST (5:1)*

,	雄	雌
経 口 投 与	7300 (6600—8074)	7200 (6025—8604)
腹腔内投与	2450 (2130—2818)	1840 (1414—2392)
皮 下 投 与	>3000	>3000

た。剖検では,経口および腹腔内投与動物に肺充血を, 皮下投与動物には局所における薬物の残存を認めた以 外,特別な異常所見をみなかつた。

3) ST (5:1)

a) マウス

経口および腹腔内経路による ST (5:1) の投与後,マウスは鎮静状態となり,大量群では振顫あるいは痙攣がみられ,呼吸困難をきたし,4時間以内に死亡した。死亡例には,剖検で肺充血が認められたほかは異常をみなかつた。皮下投与では,症状は対照群と特に相異なく,投与部位局所の薬物貯留以外,剖検でも異常をみなかつた。

b) ラット

経口および腹腔内投与後鎮静化し,前後肢を伸ばして 腹ばい状となる動物が多かつた。投薬後,死亡にいたる 時間は,経口投与群では24時間前後,腹腔内投与動物で は約3時間で,前者では死亡直前に痙攣を観察した。皮 下投与を受けた動物の症状は対照動物と特に変わらなか つた。剖検では死亡例に肺充血をみたほか,生存例の剖 検所見には異常を認めなかつた。

亜急性毒性

1) 体重增加

図1 および2 に SMX, TMP, ST (5:1) の体重増加曲線を示した。

雄ラットでは ST (5:1) $2700 \, mg/kg$ 投与群が 3 週間 までに全動物が死亡し、同じく $1800 \, mg/kg$ 投与群は対 照群より体重増加曲線の低下がみられた(図 1)。

雌ラットでは SMX および ST (5:1) の大量投与群における体重増加曲線が対照群のそれにくらべ、明らかに低下の傾向を示している(図 2)。

2) 飼料摂取量

雌雄動物とも、SMX および ST (5:1) の大量投与 群に摂取量がやや減少する傾向がみられた。

3) 一般症状

生存動物には実験中,特記すべき変化を認めなかつたが,致死動物では鎮静状態後衰弱し,死亡した。

4) 血液検査

各群における, 頸動脈より採血した血液の検査結果は表2~4に示すとおりである。

SMX 投与群では大量投与の2群に赤血球数, 血色素

量およびヘマトクリット値の軽度の減少傾向がみられ, 一方, TMP では白血球数が雄動物で,対照群に比し, 軽微減少の傾向を示した。ST (5:1) 投与群では最高用 量群に血色素およびヘマトクリット値の軽度の減少がみ られたのみであつた。

5) 臨床化学検査

SMX, TMP および ST (5:1) 投与群において、血 清蛋白、A/G 比、GOT、GPT、アルカリホスファター ゼ、コレステロール、血糖値には有意な異常を認めなか つた。

6) 尿検査

尿検査では、pH、蛋白、糖および潜血の検査を行なつたが、いずれにも有意と考えられる異常をみなかつた。

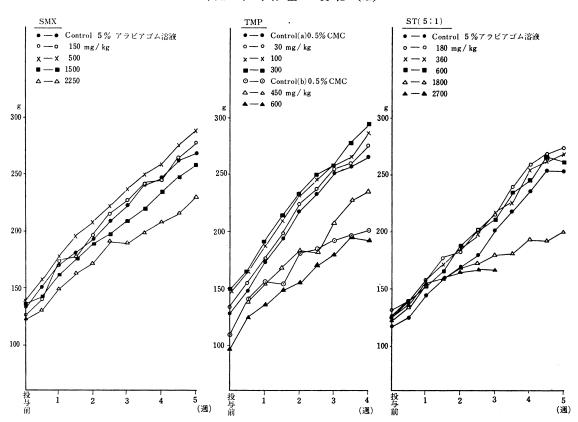
7) 剖検成績

a) 臓器重量

臓器重量は実重量および体重 100g 当り重量を算出して表5~7に示した。

SMX 投与群(表5)の甲状腺の実重量および体重比 重量に増加の傾向が目立つたほか、肝重量の増加および 胸腺と腎重量の低下がみられた。その他の臓器には用量

図1 平均体重の変化(雄)



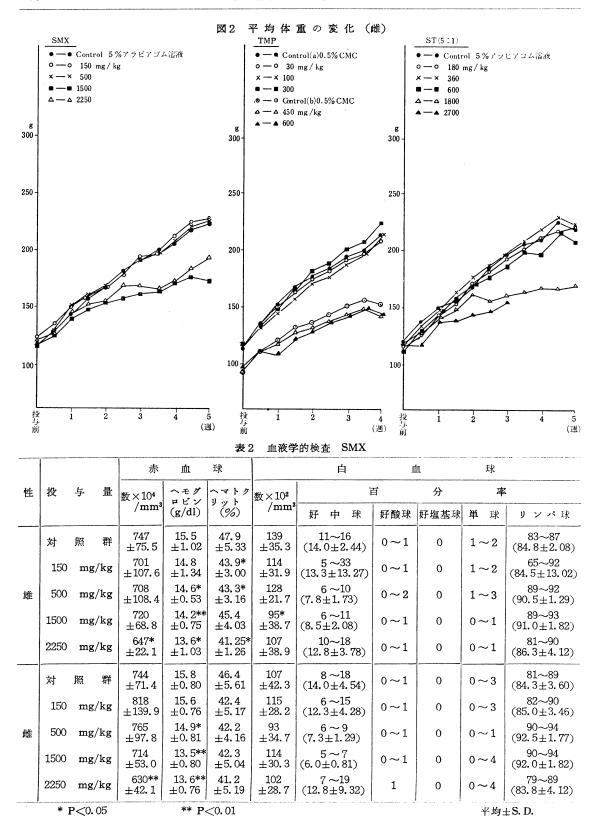


表 3 血液学的検査 TMP

-							HVV.E				
			赤	TŲT.	球		白	1	fit.	球	
性	投	与 量	数×104	ヘモグ	ヘマトク	数×102	Ī	<u> </u>	分	率	
			/mm ^s	ロビン (g/dl)	リット (%)	/mm ³	好 中 球	好酸球	好塩基球	単 球	リンパ球
	対照	群(a)	703 ±143.3	14.5 ±1.41	46.3 ±3.71	92 ±23.4	$10\sim25$ (16.8±6.24)	0~2	0	1~3	$73\sim85$ (80. 7 ± 5.44)
	30	mg/kg	592 ±120.7	15.0 ±1.03	46.2 ±3.68	70* ±19.5	13~17 (16.0±2.00)	0~1	0 .	$0\sim 1$	$82\sim87$ (83.8±2.23)
	100	mg/kg	570 ±60.0	14.4 ±0.93	45.5 ±3.34	109 ±38.5	12~22 (15.3±4.58)	0~1	0	0~1	78~88 (84.0±4.32)
雄	300	mg/kg	756 ±137.0	15.2 ±1.34	46.0 ±4.06	65* ±28.1	10~19 (17.8±5.80)	0~1	0	0~1	75~90 (81.8±6.24)
	対照	群(b)	846 ±148.6	16.2 ±1.79	41.9 ±3.80	112 ±66.4	$25\sim46$ (35.0±11.57)	0~2	0	0~1	53~74 (63.8±11.29)
	450	mg/kg	660 ±108.0	15.1 ±1.14	42.0 ±1.91	77 ±34.5	9~14 (10.8±2.38)	0~3	0	0~2	84~91 (88.5±3.10)
	600	mg/kg	777 ± 149.0	15.4 ±1.91	45.0 ±4.17	57 * ±17.1	$9 \sim 22$ (18.5±6.35)	0	0	0~2	$76\sim91$ (80.8±6.90)
	対照	群(a)	751 ±113.1	14.6 ± 1.57	45.0 ±4.78	79 ±32.0	$12\sim39$ (24.0±12.30)	0~2	0	0~1	$61\sim88$ (75. 3 ± 12.10)
	30	mg/kg	686 ±64.8	14.8 ±0.86	43.4 ±3.84	94 ±26.4	$13\sim18$ (15.3±2.20)	1~3	0	0~1	$82\sim86$ (83.5±1.70)
	100	mg/kg	732 ±90.6	15.2 ±9.33	43.6 ±3.43	91 ±31.9	$9 \sim 11$ (9.8±1.00)	0~2	0	0	$89\sim91$ (89.8 ± 1.00)
雌	300	mg/kg	652* ±85.1	15.1 ±1.02	44.5 ±1.65	107 ±53.6	$6 \sim 30$ (18.0±10.95)	0~1	0	0~1	68~94 (81.2±11.70)
	対照	群(b)	845 ±81.9	15.4 ±1.28	43.5 ±3.81	65 ±41.8	$8 \sim 24$ (17.5±7.50)	0~3	0	0~3	$71\sim92$ (79.5±8.96)
	450	mg/kg	796 ±83.9	15.0 ±1.29	44.1 ±3.21	69 ±30.8	$13\sim35$ (24.0±9.50)	0~3	0	0~2	$65\sim82$ (73.3±7.68)
	600	mg/kg	765 ±47.9	15.1 ±1.08	44.7 ±3.35	88 ±19.5	$5 \sim 20$ (12.3±6.13)	0~1	0	0~2	$80\sim95$ (87.5±6.13)

* P<0.05

平均±S.D.

表 4 血液学的検査 ST (5:1)

			赤	TŲT	球		白	1	fi1	球	
性	投	与 量	数×104	ヘモグロビン	ヘマトク リット	数×10 ²		Ĭ	分	率	
			/mm³	(g/dl)	(%)	/mm ⁸	好 中 球	好酸球	好塩基球	単 球	リンパ球
	対	照 群	799 ±93.9	$14.9 \\ \pm 1.00$	44.7 ±4.80	109 ±32.5	$7 \sim 23$ (13.0±7.34)	0~1	0	0~3	$77\sim92$ (85.8±7.09)
	180	mg/kg	837 ±62.1	14.6 ± 1.31	43.4 ±4.53	102 ±33.7	$7 \sim 18$ (12.5±4.93)	0~1	0	0~2	79~90 (90.8±6.19)
雄	360	mg/kg	883 ±193.0	$\begin{array}{c} 15.2 \\ \pm 0.84 \end{array}$	45.3 ±4.35	108 ±31.1	$6 \sim 20$ (11.5±6.02)	0~3	0	0~4	80~94 (86.8±6.88)
	600	mg/kg	757 ±58.8	15.2 ± 0.88	44.7 ±3.20	87 ±27.5	$4 \sim 9$ (7.0±2.16)	0	0	0~3	88~96 (91.8±3.31)
	1800	mg/kg	734 ±68.4	13.1** ±1.11	± 2.30	± 16.0	$5 \sim 25$ (11.8±9.45)	0	0	0~2	75~95 (87.8±9.00)
	対	照 群	795 ±106.6	16.3 ±0.75	47.4 ±3.41	97 ±26.2	$5 \sim 20$ (12.0±6.78)	0~2	0	0~1	$78\sim94$ (86.8±7.18)
	180	mg/kg	753 ±30.0	15.7 ± 0.37	44.9 ±2.34	93 ±20.1	9 ~14 (11.0±2.16)	0~2	0	0~1	85~91 (87.5±2.64)
雌	360	mg/kg	854 ±86.3	16.5 ± 0.88	45.7 ±2.58	88 ±37.9	$3 \sim 17$ (10.8±6.02)	0~1	0	0~4	$78\sim97$ (87.8 ± 8.14)
	600	mg/kg	797 ±91.3	16.4 ± 0.84	46.5 ± 2.51	85 ±15.1	$3 \sim 16$ (6.5±3.10)	0	0	0~1	84~97 (91.8±5.56)
	1800	mg/kg	721 ±82.9	13.8** ±0.53	38.4** ±2.50	89 ±14.1	$5 \sim 25$ (11.8±9.45)	0~1	0	0~2	$75\sim95$ (87.5±9.00)

** P<0.01

平均±S.D.

表 5 臓器重量 (SMX) ()内 体重 100 g 当り重量

							.008日9里里
投	与	量	Control 5%アラビアゴム 溶液	150 mg/kg/day	500 mg/kg/day	1500 mg/kg/day	2250 mg/kg/day
/pl	**-	ô	9	10	10	10	4
例	数	우	10	9	10	8	6
体	重	ô	268.67 \pm 47.47	278.10 ± 44.83	289.40 ± 24.70	258.50 ± 22.56	230.00 ± 25.82
(g)	우	222.60 ± 9.57	221.78±13.64	225.40 ± 19.31	172.75±23.06**	194. 17±14. 63**
F	ŭ	8,	$ \begin{array}{c c} 1.65 \pm 0.08 \\ (0.63 \pm 0.12) \end{array} $	$1.79\pm0.09**$ (0.66 ± 0.12)	$ \begin{array}{c c} 1.62 \pm 0.10 \\ (0.56 \pm 0.05) \end{array} $	$\begin{array}{c} 1.66 \pm 0.11 \\ (0.64 \pm 0.08) \end{array}$	1.75 ± 0.13 $(0.78\pm0.07)*$
	g)	P	$ \begin{array}{c c} 1.66 \pm 0.13 \\ (0.75 \pm 0.06) \end{array} $	1. 62 ± 0.22 (0. 73 ± 0.11)	1.57 \pm 0.08 (0.70 \pm 0.07)	1. 56 ± 0.07 (0. 92 ± 0.13)**	1.61±0.20 (0.83±0.05)*
	<u></u>	8	$ \begin{array}{c c} 1.08 \pm 0.18 \\ (0.41 \pm 0.11) \end{array} $	1. 12 ± 0.10 (0. 42 ± 0.10)	1.08 ± 0.14 (0.37 ± 0.05)	0.94 ± 0.12 (0.36 ± 0.03)	$0.79\pm0.06**$ (0.36 ± 0.03)
	g)	우	0.84 ± 0.12 (0.37 ± 0.05)	$0.97\pm0.15*$ $(0.44\pm0.05)**$	0.88 ± 0.14 (0.39 ± 0.05)	$0.68\pm0.10** \ (0.40\pm0.06)$	0.77 ± 0.08 (0.40 ± 0.03)
	4-	8	1.55 ± 0.34 (0.61 ± 0.42)	1.73 ± 0.84 (0.70±0.61)	1. 24 ± 0 . $12*$ (0. 43 ± 0 . 07)	1.58 ± 0.35 (0.61 ± 0.10)	1.60 ± 0.33 (0.70 ± 0.14)
	甫 g)	P	$ \begin{array}{c c} 1.12 \pm 0.22 \\ (0.55 \pm 0.08) \end{array} $	1.54 ± 0.75 (0.69±0.31)	1. 20 ± 0.15 (0. 53 ± 0.09)	1.94 ± 1.62 (1.20 ± 1.17)	$1.42\pm0.27*$ $(0.74\pm0.20)*$
R/a	Rés	ô	0.71 ± 0.23 (0.26 ± 0.08)	0.81 ± 0.25 (0.30 ± 0.09)	0.72 ± 0.16 (0.26 ± 0.06)	0.48±0.12* (0.18±0.03)**	0.40 ± 0.17 (0.17 ± 0.07)
胸 (:	腺 g)	P	0.56 ± 0.12 (0.25 ± 0.05)	0.60 ± 0.20 (0.28 ± 0.10)	0.54 ± 0.10 (0.24 ± 0.03)	$0.35\pm0.14**$ (0.20 ± 0.06)	0.35±0.15** (0.18±0.08)*
	т	ô	$10.41 \pm 1.73 \\ (3.91 \pm 0.42)$	11.07 ± 0.19 (4.05 ± 0.47)	11.07 ± 0.19 (3.81 ± 0.24)	13. 42±1. 38** (5. 24±0. 76)**	13.80±1.98** (6.00±0.45)**
	ቸ g)	9	9.86 ± 1.33 (4.43 ± 0.53)	9.48 ± 0.80 (4.28 ± 2.9)	9.61 ± 1.88 (4.25 ± 0.61)	9.66 ± 1.57 $(5.60\pm0.69)**$	$12.73\pm2.34**$ $(6.46\pm1.06)**$
	57	ô	2.13 ± 0.39 (0.80 ± 0.11)	2.22 ± 0.24 (0.81±0.10)	1.87±0.22 (0.64±0.07)**	1.68±0.32* (0.65±0.10)**	1.88±0.38 (0.81±0.08)
	賢 g)	ę	1.76 ± 0.15 (0.79 ± 0.06)	1.74 ± 0.12 (0.79±0.05)	1.61 ± 0.27 $(0.71\pm0.08)*$	$1.37\pm0.13**$ (0.81 ± 0.16)	$1.45\pm0.21**$ (0.75±0.07)
	ıdı	ô	0.65 ± 0.15 (0.24 ± 0.03)	0.88 ± 0.34 (0.29 ± 0.09)	0.72 ± 0.09 (0.25 ± 0.04)	0.70 ± 0.13 (0.27 ± 0.06)	0.58 ± 0.05 (0.25 ± 0.03)
	卑) g)	우	0.55 ± 0.12 (0.24 ± 0.05)	0.7±0.17* (0.31±0.06)*	0.57 ± 0.05 (0.25 ± 0.20)	0.60 ± 0.18 $(0.36\pm0.15)*$	0.63 ± 0.17 $(0.32\pm0.08)*$
精 (変 g)	ô	0.80 ± 0.40 (0.39 ± 0.27)	0.53 ± 0.13 (0.19 ± 0.04)	0.56 ± 0.27 (0.19 ± 0.09)	0.63 ± 0.25 (0.15 ± 0.07)	
子(宮)	우	0.39 ± 0.17 (0.17 ± 0.07)	0.46 ± 0.21 (0.21 ± 0.09)	0.33 ± 0.12 (0.15 ± 0.05)	0.35 ± 0.14 (0.20 ± 0.06)	0.36 ± 0.15 (0.18 ± 0.07)
	= 4.	ô	8.56 ± 1.29 (3.23 ± 0.66)	9.40 ± 2.12 (3.47 ± 0.98)	8.00 ± 1.10 (2.72 ± 0.37)	9.50 ± 1.35 (3.35 ± 1.23)	12. 33±4. 93 (5. 53±3. 00)
	垂体 ng)	9	$ \begin{array}{c c} 10.20 \pm 1.93 \\ (4.59 \pm 0.87) \end{array} $	$10.72 \pm 2.68 \\ (4.82 \pm 1.12)$	10.33 \pm 2.55 (4.65 \pm 1.19)	8.60 ± 1.93 (5.00 ± 1.04)	9.17 ± 0.75 (4.76 ± 0.70)
	II. ne	ð	21.86 ± 11.38 (8.32 ± 4.73)	29.60±8.98 (11.85±5.66)	34.05±7.56* (11.79±2.50)	76.10±44.96** (29.88±18.87)*	33.33 ± 12.70 (31.00±28.16)
	伏 腺 ng)	P	12. 13±3. 09 (5. 42±1. 48)	26.83±13.55** (12.25±6.60)*	40.40±17.17** (18.10±8.50)**	67.57±42.63** (40.90±28.19)**	58.83±7.36** (30.46±4.53)**
Fit	pσ	ô	59.00±11.38 (22.85±8.40)	59. 75±11. 95 (22. 35±7. 27)	67. 44 ± 26. 35 (23. 41 ± 9. 02)	53.80±9.87 (20.86±3.62)	57.00±2.65 (24.83±4.61)
副 (1	腎 ng)	P	68.70±17.95 (30.96±8.38)	69. 22±12. 93 (31. 22±5. 53)	69.40 ± 27.49 (30.65 ± 11.07)	$60.69 \pm 7.50 \\ (35.81 \pm 7.64)$	53.00 ± 8.17 (27.25 ± 3.21)
睾 ((g)	ð	2.29 ± 0.14 (0.88 ± 0.14)	2.19 ± 0.46 (0.79 ± 0.10)	2. 13±0. 40 (0. 73±0. 12)*	$2.01\pm0.32*$ (0.78±0.11)	1.96 ± 0.46 (0.85 ± 0.14)
卵 (1	果 ng)	우	83.67±20.49 (37.60±9.66)	78. 44±17. 02 (35. 67±8. 71)	71.78 ± 9.71 (31.94 ± 4.12)	62. 13±14. 60* (35. 75±6. 06)	67. 17±13. 41 (37. 02±5. 60)

^{*} p<0.05 ** p<0.01

∩ ∩.	
(TMP)	
器重量	
6 麗	
表	

	ı	1	1	1		1	1		
	600 mg/kg/day	8 2	192, 75±32, 26 143, 00±4, 97**	1.56±0.07 (0.83±0.17) 1.46±0.10 (1.02±0.05)*	0.85±0.16 (0.44±0.08) 0.69±0.12 (0.48±0.08)	1.43±0.43 (0.78±0.36) 0.99±0.22 (0.69±0.14)	0.35±0.11** (0.18±0.04)* 0.40±0.13 (0.28±0.09)	7.45±1.42 (3.89±0.54) 6.36±0.87 (4.45±0.62)*	平均士 S.D.
当重し	450 mg/kg/day	7 10	237, 43 ± 24, 89** 141, 60 ± 11, 80*	1.79±0.16 (0.76±0.07) 1.52±0.08 (1.08±0.11)***	0.96±0.19 (0.40±0.07) 0.60±0.08 (0.43±0.04)	1. 41±0.09 (0. 60±0.06) 0. 96±0.20 (0. 67±0.11)	0. 69±0.38 (0.23±0.06) 0.30±0.07 (0.21±0.04)	11. 43±1. 81** (4. 82±0. 59)** 6. 92±0. 92** (4. 90±0. 70)**	
) 内 体重100g当	Control (b) 0.5% CMC	8 10	201. 25±17. 82 152. 30±5. 44	1. 66±0.12 (0.83±0.09) 1. 46±0.08 (0.96±0.04)	0. 90±0. 09 (0.45±0. 05) 0. 64±0. 10 (0.42±0. 06)	1. 64±0.58 (0. 84±0.36) 1. 01±0.19 (0. 66±0.13)	0.59±0.19 (0.29±0.10) 0.35±0.08 (0.23±0.05)	7. 48±0.96 (3.74±0.64) 5. 67±0.94 (3.71±0.58)	
量(TMP)	300 mg/kg/day	10	294. 65 ± 25. 50 222. 20 ± 12. 92	1. 82±0.12 (0. 62±0.06) 1. 74±0.05 (0. 78±0.06)	1.00±0.08 (0.34±0.01) 0.81±0.07 (0.36±0.03)	1. 44±0.17 (0.48±0.03) 1. 33±0.43 (0.60±0.17)	0.50±0.09 (0.17±0.04)* 0.50±0.08 (0.23±0.04)	12. 82±1. 39* (4. 35±0. 22) 11. 24±1. 46** (5. 07±0. 67)**	
表 6 職器重量	100 mg/kg/day	10	287. 70±24. 44 215. 11±9. 43	1. 79±0.07 (0. 63±0.05) 1. 80±0.11* (0. 84±0.06)	0.99±0.14 (0.34±0.05) 0.84±0.22 (0.39±0.10)	1.35±0.13 (0.47±0.05) 1.40±0.21* (0.65±0.10)	0.50±0.13 (0.18±0.04) 0.57±0.07 (0.27±0.04)	12. 12±1. 32* (4. 21±0. 21) 11. 03±0. 95** (5. 12±0. 29)**	
	30 mg/kg/day	10	275.50±22.54 208.00±13.10	1.91±0.11 (0.70±0.03) 1.77±0.11 (0.85±0.04)*	$ \begin{array}{c} 1.00\pm0.09 \\ (0.37\pm0.04) \end{array} $ $ 0.91\pm0.29 \\ (0.44\pm0.15) $	$\begin{array}{c} 1.59\pm0.49 \\ (0.57\pm0.17) \\ 1.26\pm0.20 \\ (0.61\pm0.08) \end{array}$	0.50±0.13 (0.18±0.04) 0.57±0.11 (0.27±0.04)	12. 10±1. 41* (4. 43±0. 24) 9. 48±2. 24 (4. 54±0. 93)	
	Control (a) 0.5% CMC 溶液	10	266. 20±52. 66 213. 45±17. 91	1. 81±0.31 (0.70±0.13) 1. 69±0.09 (0.80±0.07)	0.97±0.13 (0.37±0.08) 0.82±0.11 (0.38±0.03)	1. 65±0.53 (0. 65±0.28) 1. 24±0.07 (0. 59±0.04)	0.59±0.18 (0.23±0.07) 0.55±0.17 (0.26±0.06)	10. 24±2. 47 (3. 90±0. 81) 8. 97±1. 22 (4. 25±0. 53)	**<0.01
	叫出	← O OI-	€ 0 O⊦	€0 0⊦	€0 0⊦	€0 0+	€O OI-	€0 0⊦	92
	故	这 樊	体 (g)	图 (8)	ڻ (8)	斯(8)	胸 腺(8)	⊞ (8)	*<0.05

	€0	$ 2.24 \pm 0.37 \\ (0.87 \pm 0.17) $	2. 35±0.24 (0. 86±0.06)	2.35±0.24 (0.82±0.06)	2.59±0.26* (0.88±0.03)	1. 78 ± 0.19 (0. 89 ± 0.12)	2.26±0.19** (0.96±0.08)	1. 78 ± 0.28 (0. 93 ± 0.10)
(8)	OH	1. 84 ± 0.25 (0. 84 ± 0.05)	1. 68 ± 0.19 (0. 81 ± 0.06)	$1.86\pm0.10 \\ (0.86\pm0.04)$	$\begin{array}{c} 2.00\pm0.16 \\ (0.90\pm0.09) \end{array}$	$1.09\pm0.20\\ (0.71\pm0.13)$	1. 23±0. 13 (0. 87±0. 07)**	1.21±0.16 (0.85±0.10)*
H	€	0. 76 ± 0.14 (0. 28 ± 0.04)	0.67±0.12 (0.25±0.03)*	0.57±0.12** (0.20±0.03)**	0.67±0.12 (0.23±0.03)**	$0.63\pm0.10 \\ (0.31\pm0.05)$	0.61 ± 0.16 (0.26 ± 0.05)	0.46 \pm 0.18* (0.24 \pm 0.09)
8	O+	0.65 ± 0.13 (0.30±0.05)	0.55 ± 0.07 (0.27±0.03)*	0.60 ± 0.07 (0.28±0.04)	$0.54\pm0.08*$ (0.24±0.03)**	0.36 ± 0.08 (0.24±0.05)	0.40 ± 0.33 (0.28±0.21)	0.34 \pm 0.11 (0.24 \pm 0.07)
精 練1)	€0		1.20 (0.39)					0.60 (0.25)
子 (g)	0+	0.36 ± 0.11 (0.17 ± 0.05)	0.39 ± 0.07 (0.19±0.04)	0.42 ± 0.13 (0.20 ± 0.60)	0.41 ± 0.13 (0.19 ± 0.06)	$0.37\pm0.19\\ (0.24\pm0.11)$	0.25 ± 0.14 (0.18 ± 0.11)	$0.20\pm0.10*$ (0.14 ± 0.07)
ነ #	€	7. 89 ± 1.36 (2. 95 ± 0.42)	9.33±1.50* (3.43±0.75)	9.56 ± 1.94 (3.97 ± 1.90)	9.44±0.88* (3.24±0.50)	7.75 ± 1.04 (3.88 ± 0.63)	9.00±0.82* (3.81±0.37)	7. 50 ± 1.41 (3. 95 ± 0.78)
t (mg)	O+	9.00 ± 1.31 (4.32 ± 0.68)	9.33±1.87 (4.50±0.83)	10.38 \pm 1.60 (4.81 \pm 0.77)	9.89 ± 1.62 (4.61 ± 0.76)	7.50 \pm 1.00 (4.90 \pm 0.65)	7.13 ± 0.99 (5.15±1.02)	7. 33 ± 1.21 (4. 88 ± 0.67)
i E	€0	26. 56±7. 09 (9. 77±2. 83)	24. 80±5. 31 (9. 15±2. 19)	28. 60±7. 14 (9. 96±2. 44)	23.00±5.27 (7.93±2.2)	34.00±28.24 (18.05±16.65)	25.86±5.76* (10.94±2.35)	28. 88±10.72 (14. 75±4. 59)
平 次 聚 (mg)	O l	21.80 ± 6.16 (10. 18 ± 2.87)	25.20 ± 4.76 (13. 10 ± 4.25)	$27.11\pm 3.41*$ (12.61±1.53)*	22.90 ± 5.32 (10.34 ± 2.50)	21.90±4.31 (14.42±3.04)	21.78 ± 3.23 (15.61±2.65)	20.60 ± 3.36 (12.66±3.00)
	€0	40.50±6.65 (15.61±3.28)	33.60±3.92* (12.31±1.15)**	37.50±6.82 (13.22±3.02)	40.90±5.93 (13.91±1.84)	54. 50±14. 53 (26. 97±7. 44)	50.57 ± 7.04 (21. 52 ± 3.68)	48.00 ± 9.43 (25.48±6.15)
画 (mg)	O+	53.3 ± 9.32 (25.01 ± 4.24)	46.30±11.70 (22.43±6.17)	45. 67±14. 06 (23. 85±4. 00)	58.40 ± 10.09 (26. 29 ± 4.26)	38.70±11.96 (25.38±7.69)	42. 60±12. 55 (30. 06±8. 48)	54.70±13.28* (37.04±10.94)*
舉 九	€	2.49 ± 0.14 (0.97 ± 0.24)	$2.41\pm0.14\\ (0.89\pm0.06)$	$2.43\pm0.15\\ (0.85\pm0.08)$	$ 2.41 \pm 0.06 \\ (0.82 \pm 0.08) $	$1.93\pm0.14 \\ (0.96\pm0.12)$	$1.99\pm0.30 \\ (0.84\pm0.09)$	1. 84 ± 0.18 (0. 97 ± 0.14)
奶 集 (mg)	O l-	78.00±14.80 (36.65±6.83)	67.80±11.37 (35.52±4.53)	73.11 ± 7.64 (34.01 ± 3.48)	20.20 ± 10.26 (31. 69 ± 4. 92)	60. 22 ± 15.07 (39. 38 ± 4.23)	56. 70±12. 10 (40. 34±9. 36)	66.70±10.47 (46.66±6.56)
* p<0.05	0.02	** p<0.01	1)	例数少ないため検定せず				平均士 S.D.

表7 臓器重量 [ST (5:1)] ()内 体重 100g 当り重量

***************************************		Control	180	200	1 000	
投 与	量	5%アラビアゴム 溶液	mg/kg/day	360 mg/kg/day	600 mg/kg/day	1800 mg/kg/dgy
例 数	ô 우	9 10	10 7	10 10	9 10	9 10
体 重 (g)	ô ♀	253.67 ± 17.64 219.60 ± 23.75	273.40±14.37* 220.00±21.66	258.50±26.99 223.30±21.66	261. 89 ± 26. 99 208. 40 ± 12. 75	202.44±18.40** 169.40±19.41**
Rv.	ô	1.68 ± 0.1 (0.67 ± 0.06)	1.78±0.13 (0.65±0.06)	1.75 ± 0.14 (0.69 ± 0.12)	1.73 ± 0.10 (0.67 ± 0.08)	1.56±0.10* (0.75±0.08)*
脳 (g)	₽	1.63 ± 0.16 (0.75 ± 0.06)	$ \begin{array}{c} 1.61 \pm 0.08 \\ (0.74 \pm 0.08) \end{array} $	1. 63 ± 0.08 (0. 74 ± 0.08)	1.68±0.09 (0.81±0.06)*	1.42±0.13** (0.84±0.07)**
心	8	1.09 ± 0.16 (0.43±0.06)	1. 28±0. 18* (0. 47±0. 07)	1.05 ± 0.23 (0.41 ± 0.05)	1.04 ± 0.18 (0.40 ± 0.08)	0.81±0.16** (0.40±0.07)
(g)	P	0.86 ± 0.15 (0.39 ± 0.05)	0.90 ± 0.08 (0.41 ± 0.02)	0.86 ± 0.13 (0.39 ± 0.07)	0.75 ± 0.10 (0.36 ± 0.04)	$0.67\pm0.13**$ (0.39 ± 0.06)
肺	ô	1.51 ± 0.26 (0.60±0.08)	1.39±0.91 (0.51±0.06)*	1.84 ± 1.31 (0.83 ± 0.92)	1.17±0.14** (0.44±0.06)**	1.21 ± 0.43 (0.61±0.23)
(g)	P	$ \begin{array}{c c} 1.09 \pm 0.22 \\ (0.50 \pm 0.11) \end{array} $	$1.23\pm0.40 \\ (0.56\pm0.17)$	1.15 ± 0.17 (0.52 ± 0.09)	1. 15 ± 0.24 (0. 55 ± 0.11)	1.11±0.31 (0.65±0.15)*
胸腺	ô	$ \begin{array}{c c} 0.60 \pm 0.11 \\ (0.23 \pm 0.06) \end{array} $	$0.76\pm0.20*$ (0.28 ± 0.07)	0.60 ± 0.17 (0.23 ± 0.05)	0.71 ± 0.26 (0.28 ± 0.10)	0.32±0.13** (0.16±0.06)*
(g)	P	0.49 ± 0.11 (0.22 ± 0.04)	0.50 ± 0.13 (0.23 ± 0.05)	0.62 ± 0.19 (0.28 ± 0.10)	0.59 ± 0.11 $(0.28\pm0.06)*$	0.30±0.11** (0.18±0.07)
肝	ô	8.89 ± 1.52 (3.50 ± 0.51)	9.35 ± 6.75 (3.43 ± 0.20)	8.86 ± 1.68 (3.42 ± 0.30)	9.46 ± 1.09 (3.63 ± 0.47)	11.87±1.81** (5.86±0.72)**
(g)	P	$7.44 \pm 1.44 \\ (3.42 \pm 0.60)$	7.86 \pm 1.37 (3.51 \pm 0.34)	$\begin{array}{c} 8.68 \pm 1.43 \\ (3.88 \pm 0.41) \end{array}$	7.42 ± 0.64 (3.56 ± 0.26)	9.71±1.38** (5.73±0.38)**
腎	ô	2.26 ± 0.26 (0.89 ± 0.08)	2.11±0.28 (0.77±0.73)**	2.01±0.25* (0.78±0.05)**	1.80±0.42* (0.70±0.18)**	1.61±0.14** (0.80±0.07)**
(g)	P	$\begin{array}{c} 1.69 \pm 0.29 \\ (0.77 \pm 0.06) \end{array}$	$\begin{array}{c} 1.65 \pm 0.20 \\ (0.75 \pm 0.09) \end{array}$	$ \begin{array}{c c} 1.68 \pm 0.12 \\ (0.76 \pm 0.08) \end{array} $	1.51 ± 0.18 (0.72 ± 0.07)	1.33±0.13** (0.81±0.08)
脾	8	0.56 ± 0.09 (0.22 ± 0.03)	0.73±0.08** (0.27±0.03)**	0.57 ± 0.11 (0.22 ± 0.05)	0.71±0.11** (0.28±0.06)*	0.54 ± 0.11 $(0.27\pm0.04)*$
(g)	P	0.65 ± 0.19 (0.29 ± 0.06)	0.59 ± 0.07 (0.27 ± 0.04)	0.56 ± 0.15 (0.25 ± 0.07)	0.54 ± 0.14 (0.26 ± 0.06)	$0.41\pm0.13** (0.24\pm0.04)*$
精 囊 (g)	·) &	0.60(0.23)	0.52 ± 0.44 (0.19 ± 0.15)	0.73 ± 0.15 (0.27 ± 0.06)	0.20 (0.08)	0.43 ± 0.21 (0.21 ± 0.09)
子 宮 (g)	우 	0.33 ± 0.14 (0.15 ± 0.05)	0.46 ± 0.18 (0.22 ± 0.07)	0.41 ± 0.10 (0.19 ± 0.05)	0.26 ± 0.10 (0.13 ± 0.04)	0.33 ± 0.18 (0.17 ± 0.08)
下垂体	ð	9.00 ± 2.51 (3.56 ± 0.80)	9.00 ± 1.41 (3.27 ± 0.46)	8.50 ± 1.90 (3.26 ± 0.47)	9.17 ± 1.17 (3.49 ± 0.47)	9.33±0.87 (4.65±0.63)**
(mg)	9	9.90 ± 1.97 (4.58 ± 1.28)	$\begin{array}{c} 10.50 \pm 1.29 \\ (4.62 \pm 0.47) \end{array}$	11.44 ± 2.65 (5.02 ± 0.89)	8.80 ± 1.23 (4.23 ± 0.56)	$\begin{array}{c c} 9.50 \pm 1.22 \\ (5.69 \pm 0.85) \end{array}$
甲状腺	ð	15.78±3.38 (6.21±1.27)	17.90 ± 5.28 (6.57 ± 1.93)	30.90±10.45** (11.83±3.29)**	39.00±14.27** (14.70±4.26)**	60.00±21.81** (29.57±9.76)**
(mg)	P	$16.00\pm 6.82 (7.41\pm 3.23)$	22.43 ± 12.18 (9.96±4.33)	30.90±8.58** (14.06±4.23)**	45.60±12.22** (21.73±5.17)**	67.56±46.05** (39.41±24.33)**
副 腎 (mg)	ô	49.00±3.38 (19.24±2.65)	54.89±12.94 (20.15±4.81)	55.70±9.27 (21.86±4.07)	75.33±19.46** (28.80±7.19)**	59.78±13.28 (29.91±7.98)**
	P	73. 50 ± 17.35 (33. 33 ± 5.96)	54. 29 ± 10. 52* (24. 77 ± 4. 49)**	70.90 ± 9.34 (32.15±6.30)	58.00±9.59* (27.82±4.12)*	47.80±10.00** (28.45±6.42)
睾 丸 (g)	ô	2.28 ± 0.25 (0.90 ± 0.08)	2.05 ± 0.57 (0.76 ± 0.22)	2.08 ± 0.68 (0.80 ± 0.22)	2.09 ± 0.41 (0.80 ± 0.18)	1.94±0.27* (0.95±0.09)
卵 巣 (mg)	P	84. 00±29. 11 (38. 31±12. 45)	82. 10±13. 18 (38. 75±4. 18)	96.60±27.29 (42.95±9.43)	76.80±10.73 (36.81±4.08)	52. 11±16. 82* (30. 49±8. 06)
	*************					L

^{*} p<0.05 ** p<0.01 1) 例数少ないため検定せず

に依存する有意な変化はみられなかつた。

TMP 投与群(表6)では肝,腎が実重量および体重 比重量が増加傾向,脾重量が減少傾向にあつたほか,下 垂体,甲状腺,副腎,睾丸,精囊等には有意な重量変化 を認めなかつた。

ST (5:1) (表7) では 360 mg/kg 以上の用量群に 甲状腺重量の増加,大量投与群に胸腺および腎重量の低 下および肝重量の増加を認めたが,その他の臓器では各 投与群に有意な変化を認めなかつた。

b) 病理組織学的検索

SMX

甲状腺:腫大した甲状腺は、被膜により周囲組織と明確に境されている。腺上皮は円柱状化し、核は円一卵円形で、細胞質は好塩基性、コロイド分泌はほとんど認めなかつた(写真1)。以上はびまん性実質性甲状腺腫の所見と一致し、その変化は SMX の用量に依存していた。

下垂体:一部核濃縮を含む好酸性細胞の減少を大量投 与群にみた(写真2)。

心:大量投与群の一例に心筋炎を観察した。他に,異常をみなかつた。

肝:細胞構築は正常に保たれ、著変を認めなかつた。



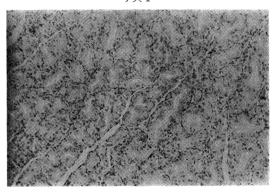
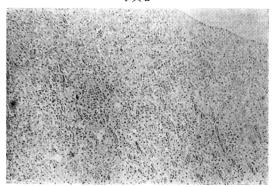


写真2



腎:とくに糸球体,尿細管には異常をみなかつた。 このほか,脳,胸腺,肺,胃,腸,膵,脾,副腎,睾

たのはか、MA、MAMR、MT、育、勝、降、降、開、副腎、睾丸、卵巣および骨髄には特記すべき異常を認めず、各組織学的所見に性差はなかつた。

TMP

肺:肺胞壁の肥厚化傾向を対照群および薬剤投与群の 一部に認めたが,肺炎を伴つた例は少数であつた。

腎:大量投与群の1例に限局性の間質炎を認めたが, 糸球体,尿細管に特記すべき異常をみなかつた。

その他, 脳, 下垂体, 胸腺, 心, 胃, 腸, 肝, 膵, 脾, 副腎, 睾丸, 卵巣, 骨髄に, 対照群との間に特に異常所見を認めず, 雌雄動物間には性差をみなかつた。

ST (5:1)

甲状腺:薄い被膜に包まれた甲状腺は腫大著しいが,腺周囲組織との境界は明確であつた(写真3)。 腺上皮はさい子形一円柱状で,核は円一卵円形,細胞質は好塩基性である。コロイドの分泌はほとんど認められなかつた(写真4)。上記変化は概して,SMX 単独投与動物に認められた所見と定性的にも定量的にも一致していた。

下垂体:好酸性細胞の減少がみられたほかは特記すべき異常を認めなかつた(写真5)。

写真3

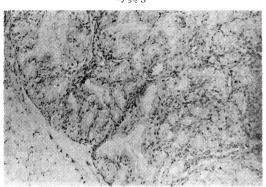
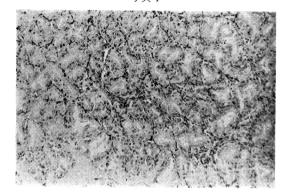


写真4



腎:少量投与群の数例に皮髄界に石灰化のみられたものがあつた。また,薬剤投与群の少数例に間質炎(写真6)をみたほか,糸球体,尿細管に著変を認めなかつた。以上のほか,脳,胸腺,肺,心,胃,腸,肝,膵,脾,副腎,睾丸,卵巣,骨髄には,特に異常所見をみず,雄雌動物間にも所見の差をみなかつた。

写真5

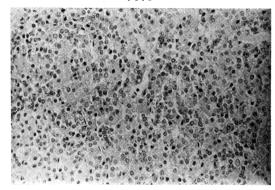
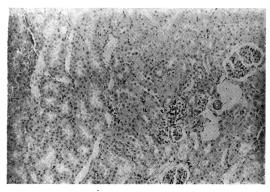


写真6



考 察

TMP およびサルファ剤と配合した場合の TMP の動物毒性試験成績に関しては、すでに海外の報告^{2),9)}がある。Bushby²⁾の報告によれば、マウスにおける TMP の経口急性毒性は比較的低く、サルファ剤と併用投与しても急性毒性表現に影響はないという。慢性毒性試験成績では、サルを含む数種の動物で、TMP は 100 mg/kg/day 以上投与される時、骨髄の造血機能抑制作用が認められている。TMP は葉酸代謝に対して阻害的に働くとされている¹⁾ので、長期大量投与による造血機能に与える影響は、本来の薬理学的作用と考えるべきであろう。しかし、TMP の臨床用量は上述の動物に適用した用量より明らかに少ないので、TMP の血液学的副作用には留意すべきとはいえ、実際に化学療法剤としてこれを用いる場合、臨床的には大きな問題ではないと考えられる。

HITCHINGS¹⁾ によれば、ラット肝臓および大腸菌内に存する二水素葉酸還元酵素と TMP との親和力には約10⁴ の相違があり、哺乳類の有する酵素は細菌の有する酵素よりはるかに感受性が低いという。

本報における SMX, TMP および ST (5:1) の急性毒性試験成績から、ラットの経口投与では TMP は SMX にくらべ、 LD_{50} が約 1/5 で、両者配合物の成績から、両者は毒性を増強しないことが推察される。一方、マウスにおける成績では、経口 LD_{50} は SMX のほうが TMP より低い値を得たが、配合物の毒性では、ラットにおいて認めたのと同様の傾向がうかがわれ、以上は両者の配合による毒性の増強を否定するものと解せられた。

UDALL⁹)の成績によると、TMP および ST の配合物 長期投与によりラットの骨髄機能抑制が認められた。わ れわれがここで報告した所見からは、ST 配合物 30 日間 連日投与により、赤血球系造血機能の指標における有意 な変化をみたが、同様の所見は SMX および TMP の それぞれ単独投与においても認められた。

TMP 単独ではなお、白血球数減少作用もあることが 認められた。以上の実験からは、臨床化学的検索および 尿分析所見に有意な異常をみなかつたが、これらネガティブデータの解釈は、慢性毒性試験の成績をも含めて慎 重にすべきであろう。

病理組織学的検査では、SMX による甲状腺に対する 影響が目立つたが、これは従来からサルファ剤一般に報 ぜられているとおりである。なお、TMP 投与群の骨髄 組織所見では、特記すべき異常をみず、ST 配合剤の組 織像では、概して SMX 単独投与群に認めた影響が主な 所見であると考えられた。

文 献

- HITCHINGS, G. H.: Species differences among dihydrofolate reductases as a basis for chemotherapy. Postgrad. Med. J., Suppl. 45: 7~10, 1969
- BUSHBY, S. R. M. et al.: Trimethoprim, a sulphonamide potentiator. Brit. J. Pharm. & Chem. 33:72, 1968
- Böhni, E.: Vergleichende bakteriologische Untersuchungen mit der Kombination Trimethoprim/Sulfamethoxazole in vitro und in vivo. Chemother., Suppl. 14:1~21, 1969
- GRUENEBERG, R. N. et al.: Trimethoprim in the treatment of urinary infections in hospital. Brit. Med. J. 1:545, 1969

- 5) Hughes, D.T.D. et al.: Trimethoprim and sulphamethoxazole in the treatment of chronic chest infections. Chemother. 14:151, 1969
- 6) Brode, J. et al.: Effect of trimethoprimsulphamethoxazole on typhoid and salmonella carriers. Brit. Med. J. 3 (5718): 318,1970
- 7) ARYA, O. P. et al.: Treatment of gonorrhoea with trimethoprim-sulphamethoxazole in

- Uganda. Brit. J. Vener. Dis. 46:214, 1970
- CRAVEN, J.L. et al.: Trimethoprim-sulphamethoxazole in acute osteomyelitis due to penicillin-resistant staphylococci in Uganda. Brit. Med. J. 3: 201, 1970
- UDALL, V.: Toxicology of sulphonamide-trimethoprim combinations. Postgrad. Med. J., Suppl. 45: 42, 1969

TOXICOLOGICAL STUDIES OF SULFAMETHOXAZOLE AND TRIMETHOPRIM, ALONE AND IN 5:1 COMBINATION, IN RATS AND MICE: ACUTE AND SUBACUTE TOXICITIES

KAZUHIRO HONDA, DAITETSU MARUYAMA, HIROKO MITARAI, TAKAKO NAKAMURA, EIKO OTA and YOSHIAKI TEJIMA

Department of Pharmacology, School of Medicine, Keio University

1) Assessment of acute toxicity of SMX and TMP in WISTAR strain rats and dd-strain mice revealed the following LD_{50} :

	Rats	; ;		Mice	
	male	female		male	female
SMX			SMX		
p. o.	8640	8400	p. o.	3900	3471
i. p.	2790	2690	i. p.	2300	2450
s. c.	>5000	>5000	s. c.	5000	5000
TMP			TMP		
p. o.	1670	1670	p. o.	5200	5400
i. p.	1530	1460	i. p.	1870	2200
s. c.	5000	5000	s. c.	5000	5000
ST (5:1)	ST (5:1)				
p. o.	7300	7200	p. o.	7200	6400
i. p.	2450	1840	i. p.	2010	2197
s. c.	>3000	>3000	s. c.	>3000	>3000

No potentiation of acute toxicity was apparent from the combination of the 2 drugs. There was neither difference in the expression of acute toxicity between male and female animals.

2) The study of subacute toxicity of SMX and TMP in rats revealed that all compounds, alone and in combination, were tolerated in relatively high doses. Results of peripheral blood examinations indicated that SMX, TMP and their combination gave inhibitory actions on the hematopoietic system in higher doses.

The histopathological abnormalities were largely confined to dose-dependent enlargement of the thyloid gland in animals given SMX. The morphological pictures in groups given SMX-TMP combination appeared to be also dominated by SMX. Histopathological examinations of animals given TMP and SMX-TMP combination did not reveal significant changes in other tissues including brain, heart, thymus, lung, stomach, intestines, liver, pancreas, spleen, adrenal, kidney, male and female reproductive organs and bone marrow. There was no evidence of the potentiation of subacute toxicities by the combination of SMX and TMP.